

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2009-106929(P2009-106929A)

【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-212061(P2008-212061)

【国際特許分類】

B 0 1 J 31/24 (2006.01)

C 0 8 C 19/08 (2006.01)

C 0 8 G 61/00 (2006.01)

B 0 1 J 31/22 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 31/24 Z

C 0 8 C 19/08

C 0 8 G 61/00

B 0 1 J 31/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月13日(2011.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周期律表の6または8族遷移金属に基づく錯体触媒であって前記金属にカルベン様の方式で結合された少なくとも1個の配位子を有するメタセシス触媒と、アルカリ土類金属塩化物、好ましくは塩化カルシウムまたは塩化マグネシウムと、を含む触媒系。

【請求項2】

メタセシス反応、好ましくは閉環メタセシス(RCM)、交叉メタセシス(CM)または開環メタセシス(ROMP)における、請求項1に記載の触媒系の使用。

【請求項3】

ニトリルゴムの分子量を低下させるための方法であって、少なくとも1種の共役ジエン、少なくとも1種の、 - 不飽和ニトリル、および場合によっては1種または複数のさらなる共重合性モノマーの繰り返し単位を含むコポリマーまたはターポリマーをニトリルゴムとして使用し、前記ニトリルゴムの、適切であるならば共オレフィンの存在下に、請求項1に記載の触媒系と接触させる、方法。